



“
CORPORATE PROFILE
2022
”

NEVER SAY NEVER

ロート製薬

“

ロート製薬といえば…

”



“

会社概要

”

| | |
|---------|--|
| 社名 | ロート製薬株式会社 ROHTO Pharmaceutical Co., Ltd. |
| 創業 | 1899年(明治32年)2月22日 |
| 設立 | 1949年(昭和24年)9月15日 |
| 資本金 | 6,504百万円(2022年3月期現在) |
| 売上高 | 101,207百万円<単体> 199,646百万円<連結>(2022年3月期現在) |
| 従業員数 | 1,599名<単体> 6,866名<連結>(2022年3月期現在) |
| 上場証券取引所 | 株式会社東京証券取引所(プライム市場) |
| 主な事業内容 | 医薬品・化粧品・機能性食品等の製造販売 |



拠点

大阪・東京・札幌・仙台・関東・名古屋・広島・福岡

工場・研究所

大阪工場・研究所(大阪府大阪市)
上野テクノセンター(三重県伊賀市)
ロートリサーチビレッジ京都(京都府木津川市)

コーポレート
アイデンティティ

NEVER SAY NEVER
ロート製薬

創業から受け継がれるDNA

1899年(明治32年)

明治以降、食の欧米化によって胃病患者が急増。
胃病で早死にする人も発生し、日本人の健康が危ぶまれるように。

万病の元は「胃」にある

「効き目のある胃腸薬の発売こそこれからの日本に必要」 ……▶ **胃腸薬「胃活」発売**



1909年(明治42年)

伝染性慢性結膜炎「トラホーム」が流行。
衛生環境が満足に整っていなかった時代に、
眼感染症患者が失明にもつながる。

ドイツで生まれた最新処方

「当時は珍しいカタカナの商品名でより多くの人々へ」 ……▶ **点眼薬「ロート目薬」発売**



社会やお客様の変化を背景に取り組む

“

常識をも打ち破る数々の歴史

”

1985年

妊娠に気づかないまま、身体に負荷をかけてしまい、
流産することも少なくなかった。

母体と子供の健康を守るため、
早期に妊娠に気づくことが重要 ……………▶



妊娠検査薬「チェッカー」、
1993年「ドゥーテスト」発売

2000年以降

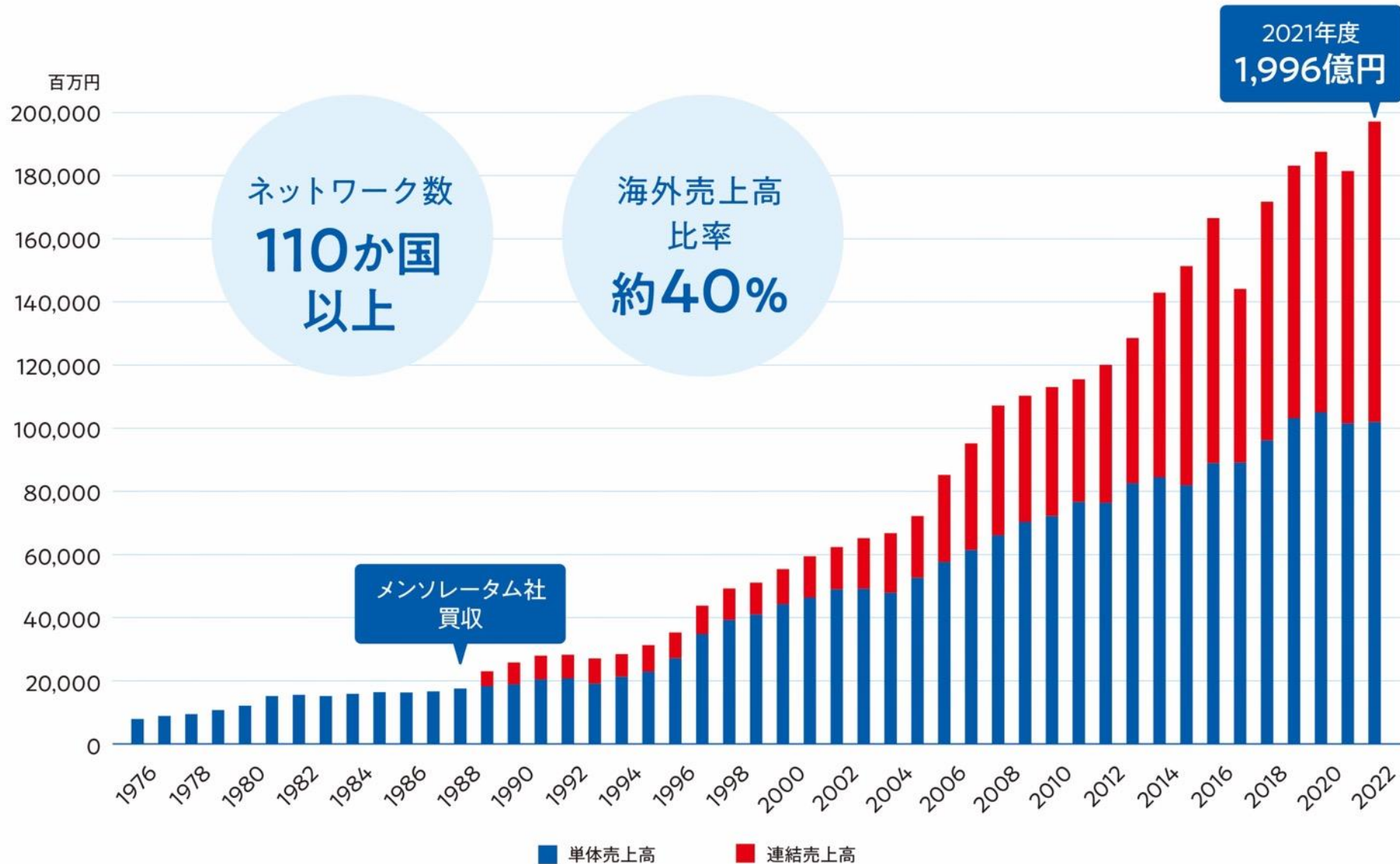
メンソレータム社買収以降、取り組んだスキンケア研究。
製薬会社だからこそ効き目にこだわった化粧品を。

本当の美しさは健康の先にある ……………▶ **機能性化粧品、スキンケアの展開**



これまでの常識を打ち破るなかで事業を柱に

“グローバルに広がるロートグループ”



“ グループ経営ビジョン2030 Connect for Well-being ”

Well-being とは身体も心もイキイキとし、さまざまなライフステージにおいて笑顔あふれる幸せな毎日を過ごすこと

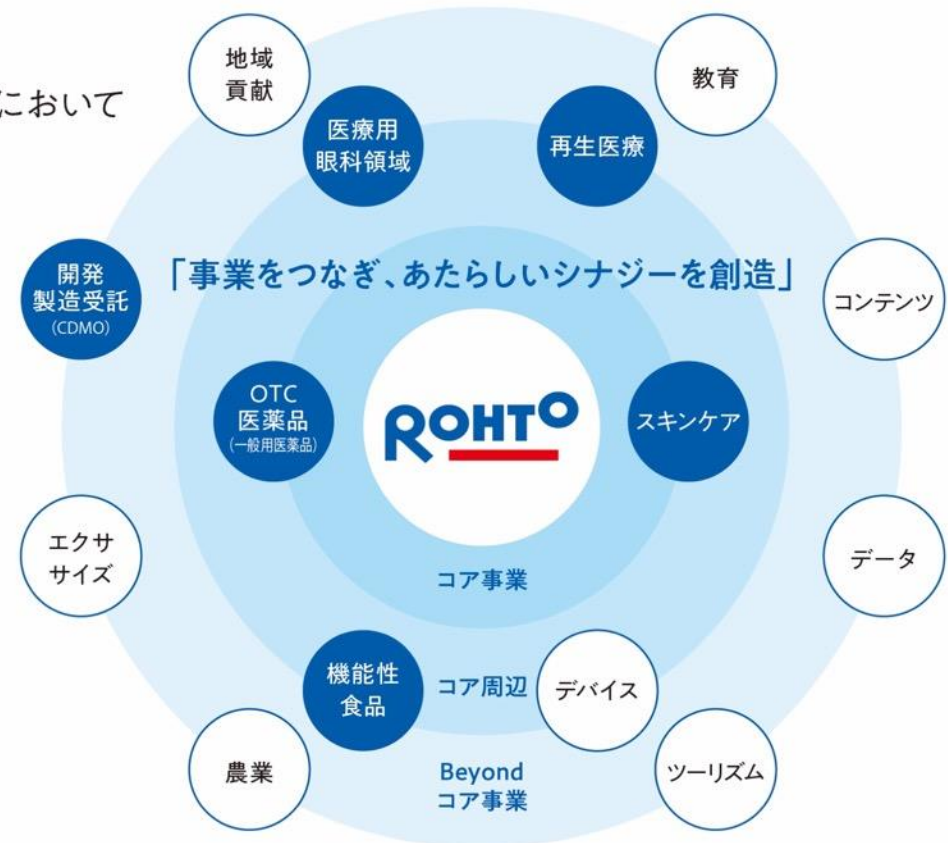
ロート製薬は、世界の人々が **Well-being** を実感できる時間が少しでも長くなるように

医薬品、スキンケアに加え、さまざまな事業でイノベーションを起こし幅広く「つなげていく」

それを実現するために、社内外の仲間同士を、組織と組織をしっかりと「つなげていく」

そして、信頼の連鎖の上に人材を育成し、一体感ある組織を作り上げ

人々の更なる **Well-being** に「つなげていく」



“

一人ひとりのお悩みにより そう商品

”

世の中の変化・健康意識の高まりを通じ、役割が大きくなるセルフケアに貢献



OTC医薬品

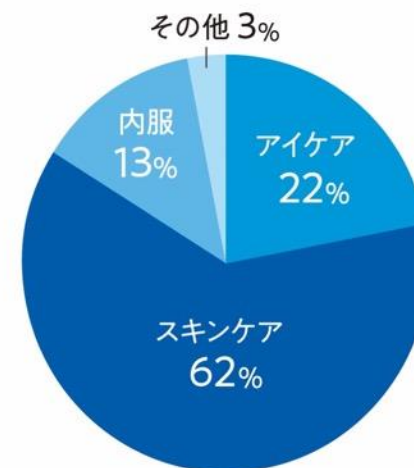
幅広いお客様の悩みによりそいながら、
研究に基づき、アイケア・外皮薬・内服薬・検査薬など
幅広いラインナップを。

スキンケア

製薬会社ならではの基礎研究・基幹技術や
再生医療研究の知見を応用し、安全性・有効性・メカニズムを追求する
エビデンスベースの研究開発により、機能性製品を。

機能性食品

健康から病気に向かう段階の未病・予防。
グループ会社や提携会社で保有する素材なども活用した製品を。



“

独自技術・ノウハウを活かし、 新たな道を切り拓く

”

OTC医薬品や化粧品における研究や製造の技術を他の分野にも

再生医療

- 2013年 …… 再生医療事業に着手
- 2017年 …… 自動培養装置を開発
- 2017年 …… 肝硬変患者を対象とした治験開始
- 2020年 …… COVID-19重症肺炎を対象とした治験開始
- 2021年 …… インターステム社を子会社とし、
整形外科領域を強化
- 2022年 …… 再生医療等製品の開発・製造受託
(CMO/CDMO) サービス開始



細胞製造



「無菌製造技術」
×
「細胞を扱う技術」

化粧品

「再生コンセプト」の製品開発



培養
装置

細胞
培養液

細胞培養関連技術



“ グループでのシナジーで より多くの方へ ”

より多くの方の悩みに応えたい。実現に向け企業の枠を越える

医療用眼科領域

長年、OTC医薬品を製造するなかで培った技術力を活かし、
グループ会社やパートナー企業と連携。

ロートニッテン株式会社が有する防腐剤無添加点眼薬のための「PFデラミ容器」、
高い生産技術力による安定した生産体制、全国の眼科医への販売網を活かす。



開発製造受託(CDMO)

医薬品製造受託(CMO)事業から進化。
独自の開発力を活かしたバイオ分野製品の
開発・製造をワンストップに提供。
グループ会社のネットワークとも連携し、
高い技術力とコスト競争力を目指す。



ロートニッテン株式会社



クオリテックファーマ株式会社



ロートリサーチビルレッジ京都

“ 身体をつくる源の「食」も 自らの手で ”

身体だけでなく、社会をも健康に。一次産業への挑戦

やえやまファーム (沖縄県石垣市)

自社農場で作ったパイナップルをジュースにする際に出る搾りかすを豚の飼料に。豚や牛の糞尿は農地の堆肥へ。堆肥がよい土壌を作り、農作物を育てる、“ファームの外から何も持ち込まない、何も捨てない”循環型農業を目指す。生産から販売まで一貫した体制で、「第六次産業」化を進め、全国へ“安心して安全な食品”のお届け。



はじまり屋 (奈良県宇陀市)

創業者の出生の地にて、
農薬や化成肥料を使わない循環型有機農業に挑戦。
(2020年8月有機JAS認定取得)
手間はかかりながらはるかに少ない生産資材で、
品質が優れた農作物をつくる。



社員から社会へ 広げていきたい健康の輪

ロート流健康経営はきっかけづくり

- 1970年頃 …… 始業前に朝の体操を開始
- 1980年頃 …… 全社員による運動会を実施(以後、定期開催)
- 2002年 …… 全社員対象で体力測定を開始
- 2004年 …… 社員の福利厚生施設「スマートキャンプ」開設
- 2014年 …… 最高健康責任者(CHO) 設置
- 2016年 …… 健康経営推進グループ 設置
婦人科検診無料化
- 2018年 …… 健康経営宣言の制定
血清フェリチン検査無料化
卒煙プロジェクト発足
- 2019年 …… 健康社内通貨「ARUCO」スタート
- 2020年 …… 喫煙をしていない従業員99.9%に到達
- 2021年 …… 2023年に向けた新健康KPIを設定



Well-being



組織も人も成長を “個”を活かした組織づくり

一人ひとりが組織をつくる。ユニークなロートを生む源泉

1990年代半ば～

性別・年齢・役職など関係なく提案や議論ができる
風通しの良い文化や風土へ

2000年代～

- 手挙げ制にて年次問わずチャレンジの機会
 - ・ ARK(明日のロートを考える)プロジェクト
 - ・ 社内ダブルジョブ(兼務)
 - ・ ランクアップ(昇給昇格)
- 組織の枠を超えて活躍できる人財育成
 - ・ 社外チャレンジワーク(複業)
- 多様な人を活かした組織づくり
 - ・ 研究開発職では外国籍メンバーも活躍

ARKプロジェクト

明日のロートを考える

「明日の世界をつくるために、ロートができることは何か？」
時々の経営課題に対し、部門や世代を超えた有志社員が
考えるプロジェクト

【これまで検討されてきたテーマ】

環境アクション

社是制定

社会貢献

健康取り組み

社内文化

働き方

など



“個”の主体性を軸にした Well-being経営

人がいて、輝いてこそ企業が生きる。多様な人財が会社の枠を超えて活躍するために

2016年～

社外チャレンジワーク（複業）

本業は大切にしながらも、兼業という形で多様な働き方を認め、一人ひとりが社会に貢献する制度。これまでにのべ123名の社員が活動。
(2021年12月時点)



2020年～

社内起業家支援プロジェクト「明日ニハ」

社会課題に向き合い“個”の想いとアイデアをもとに起業する社員の支援を行う社外チャレンジワーク実践者発のプロジェクト。事業を興す経験を通じて自律・自走する人を後押しし、会社の枠に捉われないマルチジョブな働き方を推進。

2016年～

社内ダブルジョブ（兼務）

就業時間の一部を、部門の枠を超えて、他部署でも従事する制度。123名の社員が兼務。
(2022年3月時点)



社会と共に明日をつくる 社会貢献活動

私たちを支えてくれる全ての存在へ。ロートだからこその取り組みを

2004年～

かるがも基金



社員のアイデアより設立した、社員の給与天引き+会社から同額マッチアップによって、社会福祉などに取り組む団体へ寄付を行う基金。

現在も有志社員による事務局を中心に活動中。

2011年～

みちのく未来基金



カルビー・カゴメと共設立した東日本大震災で親を亡くした子ども達の奨学基金。

震災当時、お腹のなかにいた子どもが卒業するまで約25年間の活動を約束。

2016年～

ソーシャルパートナー

賛同してくださった取引先と共に、目薬の売上の一部をアジア、アフリカを始めとした白内障治療などの眼科医療の支援活動に寄付。



2021年～

奈良市鴻ノ池運動公園の ネーミングライツ スポンサー契約締結

地域の皆さんや次世代を担う子どもたちの運動促進と健康的な生活に貢献。





NEVER SAY NEVER

オート製薬